

建部つながり見つけ

令和3年度



瓦屋禅寺 参道口



河辺のいきものの森


令和4年3月発行

連絡先 建部地区社会福祉協議会（建部コミュニティセンター内）

TEL 0748-22-0303 IP 050-5801-0303

E-mail tatebe-machikyo@e-omi.ne.jp

この冊子は、東近江市生活支援体制整備事業 第2層協議体運営業務の委託を受け作成したものです。

編集：  認定特定非営利活動法人
まちづくりネット東近江



お友達登録をお願いします

建部地区社会福祉協議会
建部の地域づくりを考える会

お互いさまのまち たてべ

建部地区に住むみなさんが人や地域とつながり、お互いに気かけ合い、
また支え合いながら安心して暮らせるまちづくりを進めています。

建部の地域づくりを考える会



建部地区社会福祉協議会を中心として、まち協や民児協、自治連、あったか人情ネットワーク、介護事業所など様々な人が集まり、地域のことをみんなで話し合っています。

令和3年度は地域のつながりの大切さや良さを考える機会として「つながりっていいよね！講演会」や世代間交流を目的とした「ちょこっとおすそわけ」を開催しました。

集まってしゃべって気かけ合って

“顔が見えるおつき合い”ができるまち

建部地区には昔から続く講やふれあいサロン、スポーツ・趣味での集まりなどつながり合える集いの場がたくさんあります。また、趣味や好きなこと、特技を持った方、職業として活かされている方もおられます。これらはすべて「建部のお宝」です。普段、身近にあるこの「建部のお宝」を再発見し、つながりや支え合いを大切にして、誰もが住み慣れた地域で元気にいきいきと暮らせる建部をめざして、地域づくりに取り組んでいます。

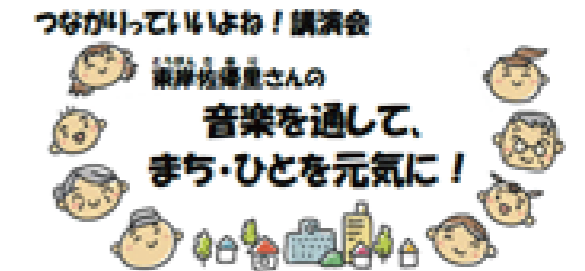


地域でのつながりや支え合いの大切さや良さを発信しています

01 つながりっていいよね！講演会

地域でのつながりや支え合いの大切さや良さを考える機会として実施しています！

日本音楽レクリエーション協会認定講師の東岸佐優里さん（建部南町在住）をお迎えして、音楽にのせた脳トレを交えながら、人とのつながりの大切さや活動内容を楽しく講演していただきました。



02 ちょこっとおすそわけ

建部で育ったお米や野菜をおすそわけしながら、世代間交流を目的に実施しています！

地域の皆さんが採れたての野菜をもち寄り、精米したてのお米と合わせておすそわけしました。「このかぼちゃはどうやって食べたらいい？」「新鮮やね～」とおしゃべりしながら、交流の機会になりました。



『ちょこっとおすそわけ』は今後も実施します！
みなさんも是非、ちょこっと覗いてみてください

「つながりの場」を見つけよう

年々、人と人とのつながりが希薄になっています。更に2年前からは、新型コロナウイルスの影響により、つながりが遮断されるような事態になっています。

昔から続いてきたつながりの意義を考え、コロナ禍においても人と人とのつながりを大切にしましょう。

生活の中でのつながり

昔は、生活の中で助け合い、支え合っていました。

何か困ったことがあると、隣近所がお互いに協力し合って解決してきました。

①手作業のため、多くの労力を必要としました。

- ・田植えの助け合い
- ・稲刈りの助け合い
- ・家の新築時の助け合い
- ・屋根葺きの助け合い

②生活上の助け合いがありました。

- ・みそや醤油などの貸し借り
- ・おかずのおすそわけ
- ・もらい風呂
- ・家を留守にする時の留守宅の見守り
- ・子どもを預けたり、預かったり

③家族だけでは行えず、親戚や近所の人々が助けられました。

- ・お葬式のお手伝い
- ・婚礼時のお手伝い



神社・祭礼でのつながり



①神社でのつながり

神社のお守りは村人が共同で行っています。神社清掃をはじめ、本殿などの建造物や器具などの維持管理を行います。

祭礼は、神社役員を中心に年中行事として執り行われます。集落の青年は「ワカイシ」組織に入会し、先輩から祭礼のやり方について教えを受けます。

この様に神社や祭礼においても人のつながりが出来ます。

②建部祭りでのつながり

建部と五個荘の一部が郷祭りとして4月に建部祭りを行っています。準備の段階から大祭後まで多くの祭礼行事(寄り合い、小宵宮祭、宵宮祭、卯の刻祭、大祭、後宴祭など)があり、その中で多くのつながりが生まれます。

自治会でのつながり

自治会は、自分の住んでいる地域を自分たちの力で住みやすくしていこうと、住民自らが主体となって様々な問題に取り組んでいる自主的に組織された任意団体です。

次のような活動をしています。

- ・災害時の助け合い
- ・防災のための取り組み
- ・道や川の管理と清掃
- ・自治会館やごみステーションの管理
- ・町内の親睦的な行事
- ・敬老会など



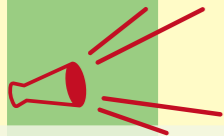
町名でのつながり

建部地区の全ての町名には、「建部〇〇町」と建部の冠がついています。これは^{*}八日市市発足時に、歴史ある「建部」の名前を残すことにより、「地区内のつながりが続くように」との願いを込めて、先人達が決められたようです。

^{*}:昭和29年に当時の八日市町と6つの村(中野、御園、玉緒、建部、市辺、平田)が合併し、八日市市となりました。

ジュニアスポーツでのつながり

子どもたちがスポーツを通じて、プレイする喜びやところとからだを育てています。そして、人と人がつながり、また、地域ともつながっています。



八日市北 BC スポーツ少年団

チームは平成12年創部で、八日市北小学校・玉緒小学校・御園小学校の子どもたちが入部しています。毎週土曜日は13時から17時、日曜日・祝日は9時から17時まで主に玉緒小学校で練習しています。

チームのスローガンは、1つ目は「誰にでもしっかり大きな声で挨拶する」、2つ目は「やる時はやるという意識を持つ」、最後に「人の気持ちを考えられる人になる」です。この3つの柱を大切に、心と体を育てています。

野球少年であった息子さんの影響もあり、監督を引き受けられた竹鼻町在住の杉本隆行監督。自身も甲西高校で野球をされており、1年生の時甲子園に出場を果たしました。

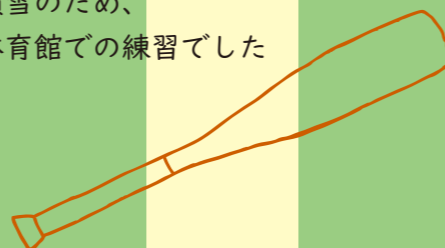
保護者も協力的で、部員の募集も八日市北小学校をはじめ玉緒小学校・御園小学校などの入学式などの後に募集チラシを配って勧誘されたり、Instagramで募集や日頃の練習風景を掲載されています。

杉本監督の夢は「子どもたちの中で、一人でも甲子園へ行ってくれることだ」と楽しそうに話してくださいました。

監督として大変なことは?とお聞きすると、「そんなに大変なことはないですよ。コーチの方が大変ですね。但しコーチ陣と話合って、方針等は共有して任しているの、安心している」とのことでした。



取材日した日は積雪のため、八日市北小学校体育館での練習でした



コミスポようかいちジュニアバドミントン

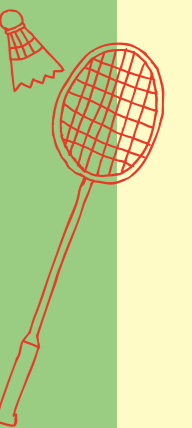
外で自由に遊べる環境や兄弟姉妹の少ない今の時代だからこそ、思いっきり身体を動かし、学校や学年の違う仲間とのバドミントン活動を通して、心身の健康づくりと仲間づくりを目指し、平成28年に発足しました。

現在、小学1年生から6年生までの24人(男子7人、女子17人)で、時には卒団した中学生も加わり、男女仲良く元気に楽しく活動して

います。

毎週火・木曜日は18時から20時と土曜日は午前中に八日市北小学校の体育館で練習しています。

代表兼コーチの村山弘晃さん(竹鼻町在住)は「生涯にわたってスポーツを楽しむ習慣や社会性を身につけてほしい」と話されています。



八日市北フットボールクラブ

『楽しく真剣に』をモットーに、全面芝生の八日市北小学校グラウンドで毎週土・日曜日・祝日の9時30分から12時30分まで練習しています。現在、団員は小学1年生から6年生までの16名です。

各学年公式戦、練習試合、県内チームの招待試合にも積極的に参加し、長浜や大津まで行くこともあります。

コーチの川畑英司さんは「子どもたちにサッカーの楽しさや難しさを感じてもらいながら、

サッカーを一生の友にしてもらえるように頑張っています」と話しておられました。また、「近くで練習できるのはいい」と話しておられる川畑さんも以前は建部日吉町に住んでおられました。

練習後にコーチとグラウンドにあいさつしている子どもたちの姿は、とても清々しいものです。

グラウンドの芝の管理はクラブ員の負担がないようにと別組織の「八日市グリーンプロジェクト」が管理されています。



建部のあの人この人 見~つけ

自分にできること、趣味や好きなこと、特技を活かして、地域の活動の場に参加するなど誰もが住み慣れた地域で元気にいきいきと暮らせるまちを目指しています。

ふるかわ しずえ
古川 静江さん

気功体操で健康寿命を延ばしたい



建部南町在住の古川静江さんは7年前から太極拳を始められ、地域のいきいきサロンや健康教室で健康体操や気功体操を教えられ、太極拳の講師としても活躍されています。

古川さんは、京都で生まれ育ち、東近江市に嫁いで来られました。ケアマネージャーをされていたとき、「平均寿命が上がる中、健康寿命を延ばすこ

とが大事」と考えられたことが活動を始めたきっかけです。

古川さんは、「いきいきサロンなどを通して、地域の人間関係や絆が深まっています。高齢者がいつまでも住み慣れた所で過ごすことができる、そんなまちづくりと一緒に考え実践していきたいです。また、河辺の森の自然の中で気功体操をやってみよう」との夢や思いをお話されました。



風景写真で地域の魅力を発信

まつよし かずお
松吉 三男さん

建部瓦屋寺町（山の神）在住の松吉三男さん（87歳）は、玉緒地区で生まれ育ち、京都で会社員時代を過ごし、平成元年より建部に住んでおられます。

運動が大好きで、学生時代は野球やテニス、社会人ではスケート、卓球、ゴルフ等を楽しまれました。また、写真、俳句、盆栽等多くの趣味をお持ちで、多くの写真展を開催されています。



令和3年8月には、撮りためた作品に撮影時の心情を詠んだ川柳を添えた写真集を発刊されました。

山の神ではサロン活動や自治会活動を通して、地域や人のつながりに尽力されています。

松吉さんは、「早いもので建部に来て33年になります。これからも写真を通して東近江地域の自然や人のすばらしさを紹介していきたい」とお話されました。



こみやま としえ
込山 利志栄さん

薬に頼らない養生の方法を伝えたい



建部堺町在住の込山利志栄さんは、4年前に「養生を学ぶ会」を立ち上げ、国際薬膳師として県内を中心に講座を開催されています。

令和4年2月には食事でも体質を改善したい人や漢方薬で体調を改善したい人を応援する「養生庵 sakai」を開設されました。

込山さんは石川県羽咋市で生まれ育ち、結婚を機に建部に住み、薬剤師として活躍されてきました。

薬剤師の経験から、心と身体全体を見る東洋医学に興味を持ち、漢方薬や食事により身体のバランスを整えて健康を維持することを学ばれました。

込山さんは、「薬に頼らない養生の方法を伝えたいとの思いで活動しています。季節に応じた養生法やおすすめの食材をテーマに講座を開催しています。出前講座もしています」とお話されました。



スポーツを通して生涯健康づくり

たかぎ しげたか
高木 重隆さん



建部下野町在住の高木重隆さん（72歳）は、35年の長きに渡り東近江市スポーツ推進委員として市民の健康づくりに取り組んでおられます。令和2年4月からは委員長として高齢者の体力づくりと認知症予防に効果があるスクエアステップの普及に取り組まれています。

若い時からスポーツが大好きで、野球、ゴルフ、トライアスロン等を楽しみ、会社員時代に日本スポーツ協会のスポーツプログラマー

の資格を取得し、勤務先でも健康推進活動に携わってこられました。

高木さんは、「これからも高齢者の健康寿命の延伸に取り組んでいきたい。建部で生まれ育ったので、地域には愛着があります。声を掛けていただければ、ふれあいサロンや自治会の行事にも出ていきます」とお話されました。



ふじわら きよし
藤原 清さん

こだわりコーヒーでみんなの心を豊かに



建部上中町（上中南）在住の藤原清さん（65歳）は、下野町に建つ築百年の古民家で、おしゃれなカフェ「タテベコーヒーロースターズ」を平成27年8月にオープンされました。

藤原さんは大阪で生まれ育ち、県内の会社を早期退職して独立。エンジニアの仕事に没頭した余り体を壊し、「主夫」をすることになり、

コーヒー好きの妻に美味しいコーヒーを淹れようと教室に通い始めたのが、コーヒーと関わるきっかけです。

藤原さんは、「良い豆を、焼き立て、挽きたて、淹れ立てで飲んでいただき、幸せな気持ちになっていただきたいです。おいしくなれとの思いで毎日淹れています。コーヒーを通して人と人のつながりができ、自然豊かな建部で多くの方が心豊かな気持ちになっていただければうれしいです」とお話をされました。



音楽を通して生涯学習を支援

とうがん さゆり
東岸 佐優里さん

建部南町在住の東岸佐優里さんは、キーボード、トーンチャイム、音楽脳トレ等県内各地でさまざまな音楽活動をされています。

平成15年に蒲生あかね文化ホールでスタートした音楽コンサート「音楽の散歩道」には、初回から音楽コーディネーターとして運営に携わってこられました。また、音楽療法の資格を取り、八日市文芸会館で「大人の音楽脳トレ講座」を開催されています。



平成23年にお母さんが認知症になられたのを機に、音楽が脳に与える影響に一層関心を持たれました。

東岸さんは、自身の介護経験から「近所に迷惑をかけないように家族だけで頑張っていると介護うつにもなりやすいです。みんなに助けてと言える社会にしたいですね。私も音楽を通してお手伝いをできれば」とお話をされました。



第3次建部地区住民福祉活動計画（令和4年度～令和8年度）



建部の地域づくりを考える会では、令和3年度に第3次建部地区住民福祉活動計画を策定しました。この計画は、“建部地区に住んで良かった”と思えるまちを目指して、住民の思いや願いをもとに、自分たちができることや取り組むべき目標を形にしたものです。目標を実現できるよう建部の地域づくりを考える会で具体的な取り組み方法を検討しながら、みなさんと一緒に推進していきます。

第3次建部地区住民福祉活動計画

お互いさまのまち たてべ

1次・2次計画から取り組んできたこと

2ヶ月に1回、『たてべの福祉を語る場』を開催し、建部のことを情報交換しながら、身近な地域での居場所づくりを推進するため、サロン交流会の開催、サロン活動や見守り活動の充実に取り組みしました。
また、1ヶ月に1回、地区の福祉のまちづくりを話し合う場として『建部の地域づくりを考える会』を開催し、世代を越えて交流できる場づくりとして『ちよこっとおすそわけ』を開催しました。



建部地区のみなさんの思いや願い



みんなで声をかけ合おう

- みなさんが意識して声をかけ合い、見守り合える「安心・安全な建部地区」にしていきたい
- あいつつ運動の開催
- 目黒橋は一声かけて手渡し
- 子どもや高齢者の見守り活動

住 民が集える場を作ろう

- 町内で気軽に寄ってしゃべれる場をつくり、お互いが気にかけてつながりをつくらせよう
- ふれあいサロンの継続と拡充
- ちよこっとおすそわけの開催

集まって しゃべって 気にかけて
“顔が見えるおつきあい”が

助 け合い活動を広めよう

- 建部地区で行う様々な福祉活動と一緒に活動できる仲間を増やしましょう
- 命のバトンの普及と啓発
- 見守り結社の継続
- 災害時のネットワークづくり
- 助け合いのしくみの検討

人・自然・たてべ

- 子どもから高齢者まで活躍できる地域にしたい
- 子どもが活躍できる
- 高齢者の知恵や経験の継承
- 建部の自然を守りたい

この計画は、“建部地区に住んで良かった”と思えるまちを目指して、住民の思いや願いをもとに、自分たちができることや取り組むべき目標を形にしたものです。目標を実現できるよう建部の地域づくりを考える会で具体的な取り組み方法を検討しながら、みなさんと一緒に推進していきます。



編集後記

第2次建部地区住民福祉活動計画『お互いさまのまち たてべ』を軸に、建部の地域づくりを考える会では「集まって しゃべって 気にかけて “顔が見えるおつきあい”ができるまち」をめざして、まちづくりを進めています。

建部にはスポーツや趣味などで集う場もたくさんあります。また素晴らしい人財の人々がおられます。建部のみなさんに改めて知っていただきたく冊子を作成いたしました。建部に住んでよかったと思っただけのよう、今後も住みよい建部をめざして活動、発信していきます。また、みなさんからの情報があれば、ご連絡いただければ幸いです。

（本冊子の水彩画は、建部日吉町在住の谷口隆雄さんの作品です）